



# ハテマロ会のネパール大震災支援活動

ハテマロ会  
हातेमालो समाज



HATEMALO SOCIETY

「ちば市国際ふれあいフェスティバル 2016」

## 出展報告書



日 時:2016年2月14日(日)10:00~15:00  
 会 場:きぼ一る(千葉市中央区中央4-5-1)  
 主 催:ちば市国際ふれあいフェスティバル運営協議会  
 出店形態:千葉ユネスコ協会青年部名義のブースをハテマロ会が使う  
 (千葉ユネスコ協会青年部より全面後援)

報告書作成者:シュレスタ・ラジブ

報告書作成日:2016年2月18日

## 「ちば市国際ふれあいフェスティバル 2016」出展チーム

**担当:** Rajeeb Shrestha、Suraj Pradhan、小島佳子

**応援:** 山上亜紀、高柳治信、Gautam Maharjan

**指導助言:** 伊藤敏明先生(東京情報大学教授)、菊池貞介先生(千葉県立八千代高等学校)、  
高井義信様(千葉ユネスコ協会副会長)

**協力:** Ambika、Arnav、Raika、渡辺さん(東京情報大学)、スティーブン・ホアン(千葉ユ協青年部)、松本幸太郎(千葉ユ協青年部)、日向優里菜(千葉ユ協青年部)、花澤裕介様(千葉ユネスコ協会)

**特別協力:** マユラさん(フェイスアーティスト)

**問合先:** 〒273-0013 千葉県千葉市稲毛区千草台 2 丁目 2-33-306

TEL: 090-6302-9151(ラジブ) URL: <http://www.hatemalo.org/> Email: [rajeeshresthajp@yahoo.co.jp](mailto:rajeeshresthajp@yahoo.co.jp)

### フェスティバルの概要

公益財団法人千葉市国際交流協会の事業としての一つの大イベント。外国人市民と日本人市民の交流の場を創出し、多文化理解を深めるとともに、国際交流・国際協力団体相互の連携を図り、市民に国際交流・国際協力への関心を高めてもらうことを目的としている。千葉市内の国際交流ボランティア 24 団体による、国際交流団体の活動紹介、海外の雑貨の販売やバザー。また、各団体のステージにて世界の民族音楽・舞踊などを披露。バザー等の売上げの一部は、毎年、国際交流・協力のために有効に活用してきている。

### ステージプログラム

10:00～開会式	※ネパールの方に募金アピール含
10:25～越中おわら愛好会	12:35～千葉インドネシアソサエティ
10:45～言語交流研究所ヒッポファミリークラブ	13:05～ナディアベリーダンスサークル
11:15～(公財)千葉市国際交流協会	13:45～ラムタイ千葉
12:15～留学生交流員へのインタビュー	14:15～千葉市中南米音楽愛好会
	14:45～閉会式

2016年2月14日(日)に千葉市中央区所在のきぼーるにて「ちば市国際ふれあいフェスティバル 2016」が開催されました。今回はハテマロ会が初めて出展しましたが、本イベントはハテマロ会にとって特別なものとなりました。今回は、「千葉ユネスコ協会青年部」を通じてハテマロ会が実施する[ネパール大震災募金&清掃活動「日本をきれいに」プロジェクト]にその売上金の一部がチャリティーとして寄付されたのです。千葉市管轄の団体から初めてハテマロ会の活動を認めてくれたこととなります。多くの方々よりご協力をいただき、盛大にイベントが完了しました。

以下イベントの様子です。

❁ ハテマロ会(千葉ユネスコ協会青年部)のブース



❁ 開会式



❁ 金網会長(千葉市国際交流センター会長、千葉ユネスコ協会会長)挨拶



❁ 千葉市市長挨拶



❁ ハテマロ会ブースにフェイスペイントボランティアをしてくださいましたマユラさん



❁ 徐々ににぎやかになるハテマロブース、千葉ユネスコ協会青年部は大の協力者



❁ ステージプログラム



国際的な合同歌



姉妹都市で留学した学生からの発表



インドネシアの楽器演奏



中南米の楽器演奏及び舞踊



チャリティー寄付金の目録を受ける



会長がお礼のスピーチ



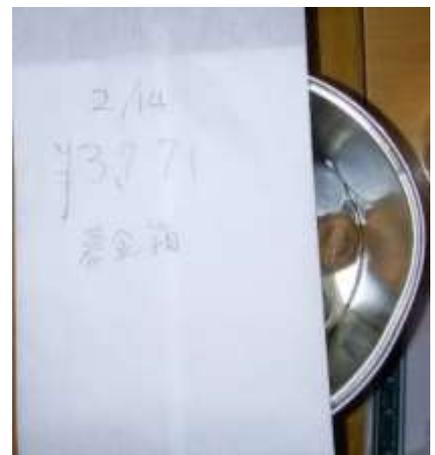
このように大変に乱れた天気であるにもかかわらず、多くのお客さんが訪れてくださり、大変にぎやかな一日でした。そして、ハテマロ会として公的機関に認めてくれた歴史的な一日でもありました。



しかし、それを受けてハテマロ会の責任も倍増しています。というのも前年は同じようなチャリティーはザンビアの会に寄付された代わりに、今回お礼になんとザンビアの大使閣下まで物理的に参加されてお礼を言ってくれたのです。

いただいたご善意はきちんと被災者に届けるように透明化する必要があるし、来年は何とかしてネパール大使からお礼を言わせる努力をしなければならないというプレッシャーを感じております。ハテマロ会の来年は良い報告ときちんとお礼ができるようにより一層努力しなければならないという宿題を課された一日でもありました。

当日はハテマロ会ブースにおいて募金箱を設置させていただきました。不特定多数の方々から善意をいただいております。合計で3,771円集まりました。この場を借りてお礼を申し上げます。



**追伸:**2016年1月30日(土)に一般社団法人 CCRC 地域活性機構主催で第9回「CHIBA の未来を創造する会」が幕張本郷所在の櫻井事務所にて開催されました。13人が参加してくれたそうです。「CHIBA の地域活性と観光立国化」をテーマとし、CCRC 構想・佐倉ジパング構想・インバウンド構想などについて話し合われたそうです。その会場でネパール大震災復興支援募金も実施され、なんと7,072円の大金が集まったそうです。その寄付金はハテマロ会に託すことが決まり、一般社団法人 CCRC 地域活性機構の代表として事務局の神長尊士様がわざわざちば市国際ふれあいフェスティバルの会場までお越しいただき、寄付金を手渡されました。



ご善意ありがとうございます。責任をもって被災者へお届け致します。今後ともどうぞよろしくお願い致します。

### 謝辞

ちば市国際ふれあいフェスティバルのような国際的で公的な場でハテマロ会が出展できたのは、千葉ユネスコ協会青年部のおかげです。そしての千葉ユネスコ協会のご好意がなければハテマロ会は今回のチャリティー募金の受入先に選ばれなかったと思います。このような素晴らしい機会を与えていただきまして千葉ユネスコ協会、そして千葉ユネスコ協会青年部に心より感謝致します。また、物理的にも多くの青年部の青年が参加してくださり、お手伝いをしていただきました。顧問の菊池先生、そして東京情報大学教授伊藤先生も忙しい中ハテマロ会の応援に駆けつけてくださいました。この場を借りて改めて御礼を申し上げます。併せて、ハテマロ会をいつも応援しご参加いただいた皆様に、重ねて感謝の意を表します。そしてボランティアの皆様、その心に敬意を表します。ネパール大震災支援活動は長期的な計画でありますので今回と同等以上のご協力、ご指導を賜りますようお願いいたします。